

令和 8 年度（追加募集）大学院医学研究科博士課程入学試験
外国語（英語）試験

（設問 1）

解答

1. (1) False, (2) True, (3) False, (4) True, (5) True, (6) True, (7) True
2. ① b, ② a, ③ b
3. (example) She noted that some brain cells showed biases toward particular colors, which does not fully align with existing theories of cortical color processing.
4. (example) They trained a linear classifier on one group's brain activity and successfully predicted colors viewed by another group, showing shared coding across individuals.

意図

自覚的な色覚の恒常性について説明した文章からの出題である。文章の流れを的確に捉え、論理的に思考する能力に加え、文脈から語句の意味を類推する能力（設問回答に必要な能力）を問う問題である。

（設問 2）

解答

1. （例）Sumiala は、死の出来事は単なる情報ではなく、娯楽性と道徳的意味を伴うことによって、社会秩序を形成する要素になると主張している。つまり、死は報道や文化において公共性を持ち、社会が生と死をどう理解し秩序づけるかに大きな影響を与える存在として扱われる。
2. （例）正しい。Sumiala によれば、死が「メディア化された出来事」となるには通常性を破る特別さと、日常のニュースの流れを中断する力が必要とされる。つまり日常から逸脱する性質が社会的注目を集め、死が儀礼や記憶を生む公共的な事件として位置づけられる条件となる。
3. （例）事例としては、「シャルリー・エブド襲撃事件」や「マンチェスター・アリーナ事件」、著名人の死では「デヴィッド・ボウイ」や「マーガレット・サッチャー」が挙げられている。これらはいずれも世界的な注目を集め、SNS を通じて新しい追悼や議論が展開された。

4. (例) ある死が強く儀礼化されるかどうかは、被害者の社会的地位や知名度、また死の原因や事件の異常性の度合いに左右される。ジョージ・フロイドが殺害された事件のように、社会的不正や政治的課題と結びつく場合には大規模な追悼や抗議が起こりやすい。つまり、道徳的・政治的要素が強いほど儀礼化が進む。
5. (例) Sumiala は、死の過剰な媒介化は社会における死の政治性を変質させ、死を道具化したり、軽視する危険があると警告している。すなわち、悲嘆や記憶を深める一方で、死が権力や世論操作のために利用され、日常的な出来事として消費されるリスクがある。この状態は死の意味や公共性を揺るがす可能性を含んでいる。

意図

＜デジタル時代における死の媒介化と、それが公共領域においてどのように儀礼化・政治化されるかを論じた本の書評＞からの出題である。文章の構成や主張の流れを的確に理解する力に加え、以下の能力を測ることを目的とする問題である。

- ・本文中の具体的例を根拠に、その社会的・文化的意味を批判的に検討する力
- ・文中の抽象的概念や指示語の内容を文脈に基づいて正確に解釈する力
- ・全体の議論を整理し、主要な論点を簡潔にまとめる要約力

(設問 3)

解答

1. (例) マインドフルネス瞑想は、中枢神経系と自律神経系の相互調整を改善することで、ストレス反応を低減させる働きをもつ。具体的には、交感神経の過剰な活性を抑え、副交感神経活動を高めることで、身体の覚醒・緊張反応を緩和する。その結果、ストレス刺激にさらされた後の情動的・生理的な回復力が向上し、ストレスによる反応性が弱まると考えられている。
2. (例) MBSR (マインドフルネスストレス低減法) は、ストレスに伴う炎症反応を低減させることが示されている。先行研究では、MBSR を行った群は対照群と比較して、炎症マーカーや神経由来炎症反応の指標が減少した。これは、マインドフルネスの実践により、自律神経系および情動調整に関連する脳神経ネットワークが調整され、ストレスが免疫系に与える影響が弱まるためと考えられている。

3. B

意図

本問題は、マインドフルネス瞑想とストレスに関するレポートを理解する問題。マインドフルネスを単なる「リラックス法」ではなく、ストレス反応の神経・自律神経・免疫系に働きかける調整プロセスとして理解しているかを評価する。

(設問 4)

解答

1. A) c, B) d, C) b
2. (example) the corona mortis
3. 肥満、喫煙、肝硬変、腹水、出血多量、糖尿病、貧血、栄養失調、閉塞性肺障害、ステロイド
4. (example) Transillumination of the abdominal wall

意図

外科系手術の重要でかつ基本的手技の一つである「切開」について、その部位を選択する重要性やリスクを解説する文章からの出題である。文章内容を正確に理解しながら身体の構造や役割をイメージし、文構造を正しく理解する能力を問う問題である。

(設問 5)

解答

1. B
2. C
3. (例) 医科大学(医学部)は個々の人間関係だけでなく、科学・医療倫理・教育・社会貢献といった共通の理念や使命によって結ばれている。
4. A
5. (例) 人類は、柔軟かつ大規模に協力できる点で他の動物と異なる。

意図

人類（*Sapiens*）が持つ独自の協働能力について説明した文章からの出題である。Harari が提示する主張を的確に論理的に理解し、人類は「柔軟な協力」と「大規模な協力」という二つを同時に成立させる唯一の動物であるという点を読み解き、この差異を、チンパンジー（柔軟性はあるが小規模）とアリ（大規模だが柔軟性に乏しい）との比較を通じて明確に認識できているかを評価する。